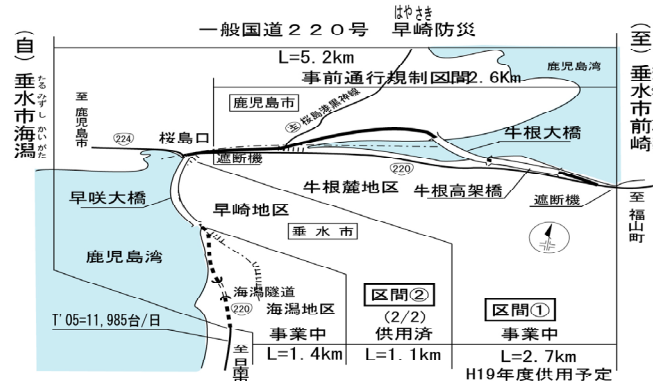


再評価結果（平成20年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課

担当課長名：下保 修

事業名 一般国道220号 <small>はやさきぼうさい</small> 早崎防災	事業区分 一般国道	事業主体 国土交通省 九州地方整備局
起終点 自：鹿児島県垂水市海潟 至：鹿児島県垂水市前崎		延長 5.2 km
事業概要 早崎防災は、垂水市海潟から同市前崎に至る延長5.2kmの事業である。当該区間は、土砂災害などの常襲地域であるため、異常気象時の事前通行規制区間（連続雨量150mm以上）の解消を図り、「安全で信頼性の高い道路」を目指した事業である。		
S59年度事業化	都市計画決定 ー	H3年度用地着手
全体事業費 321 億円		事業進捗率 94 %
計画交通量 9,000 ~ 12,800 台/日		供用済延長 1.1 km
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.3 (残事業) 5.0	総費用 (残事業)/ (事業全体) 35 / 406 億円 (事業費：9.5/382 億円) (維持管理費：26 /24 億円)
総便益 (残事業)/ (事業全体) 177 / 525 億円 (走行時間短縮便益：152/441 億円) (走行費用減少便益：22/67 億円) (交通事故減少便益：2.6/18 億円)		基準年 平成19年
感度分析の結果 残事業について感度分析を実施 交通量変動：B/C=5.5 (交通量+10%) B/C=4.5 (交通量-10%) 事業費変動：B/C=4.9 (事業費+10%) B/C=5.1 (事業費-10%) 事業期間変動：B/C=5.0 (事業期間+20%) B/C=5.0 (事業期間-20%)		
事業の効果等 ・災害への備え（異常気象時事前通行規制区間（連続雨量150mm以上：L=2.6km）を解消する） ・物流効率化の支援（異常気象時事前通行規制区間の解消により、農畜水産品の出荷額、輸送コストの改善が見込まれる） 他9項目に該当		
関係する地方公共団体等の意見 国道220号は、桜島の大爆発等に備えた避難道路及び地域経済の活性化に重要な役割を果たすことが期待されており、鹿児島市をはじめとする関係4市の首長及び議会議長で構成される桜島火山活動対策協議会より早期整備の要望（平成19年8月3日）を受けている。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 平成17年9月の台風14号で、垂水市牛根地区において土砂災害により6集落約800人が孤立し、災害による被害がますます深刻化している。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 異常気象時の事前通行規制区間が存在する牛根麓地区（L=2.7km）を今年度末供用を予定しており、平成19年度内に約7割の区間の事業が完了し、残区間も引き続き防災対策を講ずる。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 平成19年度までに牛根地区（L=2.7km）の供用に向け鋭意工事を促進しており、早崎地区未対策区間についても早期完成を目標に重点的な整備を進める。		
施設の構造や工法の変更等 新技術、新工法の積極的活用及び建設副産物対策によりコスト削減を図っている。		
対応方針 事業継続		
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。		
事業概要図		



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。